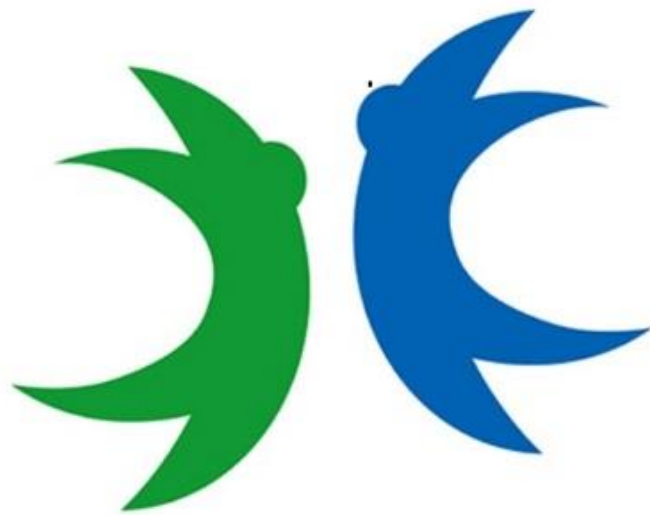


# 北杜市立保育園整備計画



平成29年12月  
山梨県 北杜市

# 目次

第1章	計画の策定にあたって	1
1	計画の目的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	2
第2章	現状	2
1	人口及び出生の状況	2
(1)	0歳から5歳の人口	2
(2)	出生数、出生率の動向	3
2	保育園児童及び保育施設の状況	4
(1)	児童の状況	4
①	児童数及び入園状況	4
	入園児童数の推移	4
	各保育園の入園児童数の推移	5
②	保育施設及び年齢別の入園状況	9
(2)	保育施設の現状	10
第3章	保育施設整備の課題	11
1	現状から見える課題	11
(1)	公立保育施設の老朽化	11
(2)	適正な保育施設数の確保	11
(3)	地域特性への対応及び良好な保育環境の確保	11
(4)	多様化する保育ニーズへの対応	11
2	北杜市公共施設等総合管理計画から見える課題	12
(1)	人口状況	12
(2)	財政状況	12
(3)	公共施設等の整備のための歳出額の推移	13
(4)	公共施設等の整備における今後の財政見通し	13
(5)	子育て支援施設の状況	13
第4章	保育施設整備の基本方針	14
1	施設整備の基本方針	14
第5章	保育施設整備の計画	14
1	各施設における具体的な整備計画	14

## 第1章 計画の策定にあたって

### 1 計画の目的

本市では、人口減少や急速な少子高齢化が進展する中、子どもの数が減少傾向にあり、出生数は、平成18年度に297人と初めて300人台を割り込んで以来、徐々に減少しており、平成28年度は200人となっています。

また、合計特殊出生率は、平成17年に1.31であったものの、平成18年は1.29、平成19年は1.11と減少傾向に転じ、その後「北杜市総合計画」や「北杜市総合戦略」における子育て支援施策に積極的に取り組み、平成28年は1.18と上昇しましたが、国や山梨県の数値と比べると、大きく下回っており、保育園の入園児数も年々減少していくことが予想されます。

しかし、厳しい経済状況などから、共働き世帯は増加傾向にあり、低年齢児を中心として保育園に対するニーズは高まっていることや、本市の独自施策である「保育料第2子以降完全無料化」により、急激な入園児数の減少はないものと考えられます。

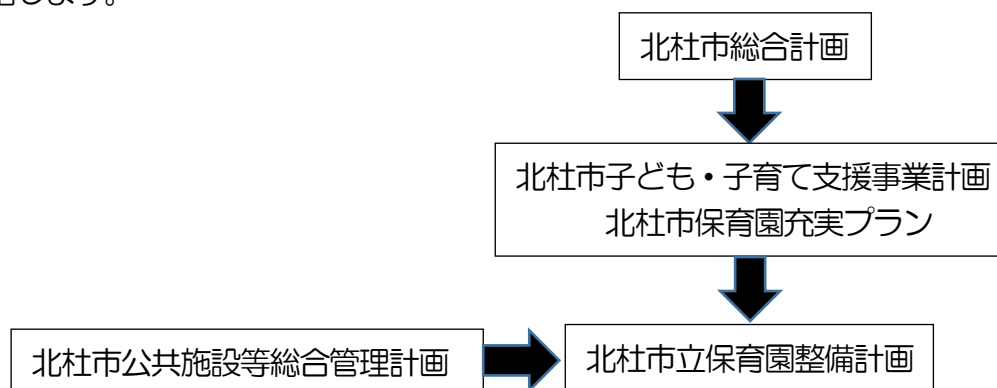
このような中、市立保育園の施設においては、昭和50年代に建設された建物が多く、全体の約6割を占めていることから、老朽化が目立ち、不具合の箇所及び機器の故障が年々増加している状況であります。

不具合箇所等については、園児の安全を最優先に考え、部分的な修繕を実施している状況ではありますが、働く保護者が安心して預けられる安全・安心な保育環境の根本的な整備が求められています。

こうした多くの課題や、保育を取り巻く社会環境の変化に迅速かつ的確に対応し、計画的な施設整備を進めるため、「北杜市立保育園整備計画」を策定します。

### 2 計画の位置付け

本計画は、「北杜市総合計画」を上位計画とした「北杜市子ども・子育て支援事業計画」及び「北杜市保育園充実プラン」を踏まえるとともに、「北杜市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りながら、本計画の推進により、保育環境の一層の充実を目指します。



### 3 計画期間

本計画は、将来における保育需要を見据え、中長期的な視点に立って、効果的かつ効率的な保育サービスを提供する体制を整備する必要があることから、平成29年度から平成38年度までの10年間を計画期間とします。

ただし、社会情勢等の変化に応じて、適宜、計画内容及び計画期間等を見直すものとします。

## 第2章 現状

### 1 人口及び出生の状況

#### (1) 0歳から5歳の人口

本市における平成29年4月1日現在の0歳から5歳の人口は1,565人であり、平成25年と比べて112人減少しています。

年齢別にみると、各年でばらつきはあるものの、すべての年齢層で減少傾向にあり、特に2歳の年齢層については、平成25年と比べると39人の減少となっています。

表 1.1 0歳から5歳人口の推移 (人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
0歳	233	231 (▲ 2)	227 (▲ 4)	220 (▲ 7)	209 (▲ 11)
1歳	263	254 (▲ 9)	240 (▲ 14)	242 ( 2)	242 ( 0)
2歳	295	270 (▲ 25)	262 (▲ 8)	264 ( 2)	256 (▲ 8)
3歳	287	303 ( 16)	279 (▲ 24)	276 (▲ 3)	279 ( 3)
4歳	299	304 ( 5)	310 ( 6)	286 (▲ 24)	291 ( 5)
5歳	300	312 ( 12)	312 ( 0)	319 ( 7)	288 (▲ 31)
計	1,677	1,674 (▲ 3)	1,630 (▲ 44)	1,607 (▲ 23)	1,565 (▲ 42)

※ ( ) 内は前年との比較

資料：住民基本台帳（各年4月1日）

(2) 出生数、出生率の動向

本市の平成28年の出生数は、200人(男子91人、女子109人)であり、平成23年と比べて82人減少しています。

また、平成28年における人口千人あたりの出生率を県平均と比較すると、県平均の7.1%に対して、本市は4.5%と低い状況です。

出生数の動向

表 1.2

(人)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
男	147	118	120	109	130	91
女	135	120	102	108	100	109
計	282	238	222	217	230	200

資料：山梨県人口動態統計

人口千人あたりの出生率の動向

表 1.3

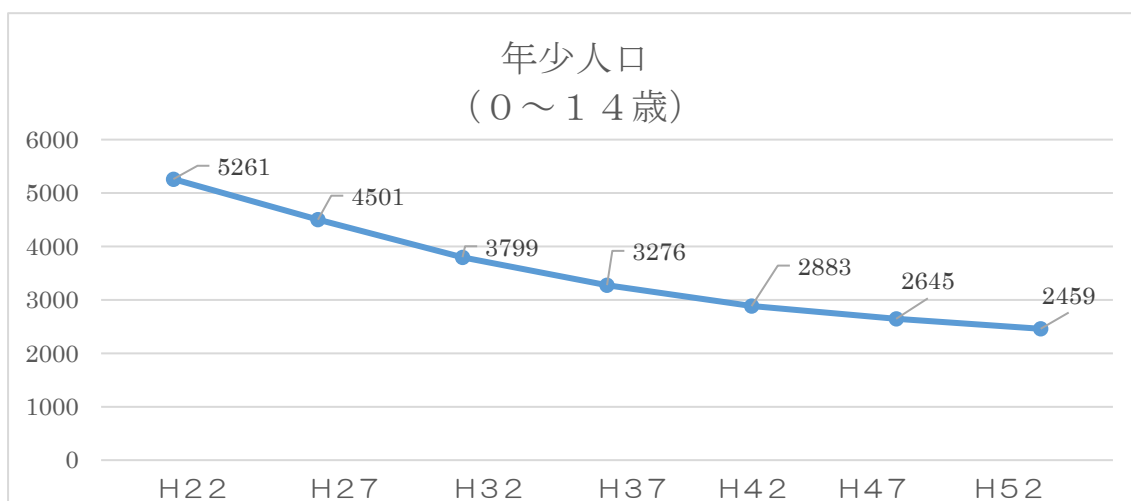
(%)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
計	6.0	5.1	4.8	4.7	5.1	4.5

資料：山梨県人口動態統計

なお、平成27年9月に策定した「北杜市人口ビジョン」による年少人口(0～14歳)推移の見通しは次のとおりであり、対策を講じなければ更なる減少が見込まれます。

<参考>北杜市人口ビジョンによる年少人口の見通し



資料：北杜市人口ビジョン

## 2 保育園児童及び保育施設の状況

### (1) 児童の状況

#### ① 児童数及び入園状況

平成29年4月1日現在、市内には保育園等が18施設（公立15施設<sup>※1</sup> 私立3施設<sup>※2</sup>）あり、学齢前の児童数1,565人に対して、園児数は1,089人で、入園率は69.6%となっています。

※1 公立15施設の内訳は、保育園12施設（内2施設は分園、1施設は休園中）、認定こども園3施設

※2 私立3施設の内訳は、保育園2施設、家庭的保育事業1施設

表2.1 入園児童数の推移

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
(公立)					
0歳	19	9	26	22	16
1歳	92	89	87	103	114
2歳	154	148	166	154	156
3歳	234	234	217	224	213
4歳	244	247	245	231	236
5歳	242	250	261	249	238
小計	985	977	1,002	983	973
(私立)					
0歳	3	0	2	1	4
1歳	10	12	14	17	19
2歳	21	16	15	18	18
3歳	15	33	25	24	28
4歳	18	22	32	24	24
5歳	27	25	23	32	23
小計	94	108	111	116	116
合計	1,079	1,085	1,113	1,099	1,089
学齢前児童数	1,677	1,674	1,630	1,607	1,565
入園率(%)	64.3%	64.8%	68.3%	68.4%	69.6%

※各年4月1日現在（長坂保育園秋田分園及び受託児童数を含めない。）

子育て応援課資料

表2.2 各保育園の入園児童数の推移

明野保育園 【定員90名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	4	0	1	1	0
	1	9	12	6	8	7
	2	10	15	20	8	9
	3	16	14	16	24	9
	4	14	16	14	16	23
	5	17	14	16	15	17
	計	70	71	73	72	65
	入園率	78%	79%	81%	80%	72%
須玉保育園 南部こども園 【定員210名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	0	3	2	1	3
	1	11	13	6	11	12
	2	27	14	23	17	19
	3	34	41	21	30	20
	4	40	37	38	27	29
	5	39	42	35	37	27
	計	151	150	125	123	110
	入園率	72%	71%	60%	59%	52%
しらかば保育園 【定員90名】 【定員120名】 (平成28年から)	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	2	3	4	3	1
	1	5	9	12	13	14
	2	13	10	21	19	18
	3	18	22	17	21	24
	4	21	20	26	18	20
	5	11	20	22	26	18
	計	70	84	102	100	95
	入園率	78%	93%	113%	83%	79%
しらかば保育園 さくら分園 【定員45名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	1	0	2	1	0
	1	1	3	2	6	3
	2	5	0	5	5	7
	3	6	7	0	5	7
	4	6	6	7	0	7
	5	8	6	6	8	0
	計	27	22	22	25	24
	入園率	60%	49%	49%	56%	53%

各年4月1日現在

子育て応援課資料

※入園率は定数に対する入園児童数の割合

みどり保育園 【定員120名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	1	0	2	0	3
	1	10	7	8	13	7
	2	10	13	10	16	18
	3	27	23	21	16	19
	4	27	27	22	23	17
	5	35	26	31	24	20
	計	110	96	94	92	84
入園率	92%	80%	78%	77%	70%	
わかば保育園 【定員45名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	0	0	0	0	0
	1	0	3	2	1	2
	2	5	1	3	5	3
	3	3	5	2	4	5
	4	3	3	6	4	4
	5	3	3	3	7	4
	計	14	15	16	21	18
入園率	31%	33%	36%	47%	40%	
長坂保育園 【定員120名】 【定員130名】 (平成29年から)	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	2	1	3	4	0
	1	13	12	10	14	18
	2	11	15	20	18	19
	3	16	19	29	28	27
	4	19	18	27	27	30
	5	21	19	24	26	28
	計	82	84	113	117	122
入園率	68%	70%	94%	98%	94%	
長坂保育園 日野春分園 【定員45名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	0	0	1	0	0
	1	6	1	2	3	4
	2	4	5	5	1	8
	3	12	4	11	8	7
	4	9	11	5	13	8
	5	4	9	11	6	13
	計	35	30	35	31	40
入園率	78%	67%	78%	69%	89%	

各年4月1日現在

子育て応援課資料

※入園率は定数に対する入園児童数の割合



小泉保育園 北部こども園  【定員45名】 【定員75名】 (平成28年から)	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	1	1	1	2	1
	1	4	4	3	6	6
	2	6	7	9	4	13
	3	8	6	8	22	9
	4	7	10	8	9	21
	5	10	7	9	7	10
	計	36	35	38	50	60
入園率	80%	78%	84%	67%	80%	
いずみ保育園  【定員120名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	2	0	3	0	5
	1	7	7	9	6	11
	2	17	17	15	15	15
	3	26	30	22	18	27
	4	28	27	30	23	21
	5	21	31	32	30	28
	計	101	112	111	92	107
入園率	84%	93%	93%	77%	89%	
小淵沢西保育園  【定員95名】 【定員110名】 (平成28年から)	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	2	0	4	3	1
	1	6	6	14	8	12
	2	15	17	10	21	8
	3	18	23	26	18	27
	4	25	18	22	27	21
	5	24	26	19	22	29
	計	90	90	95	99	98
入園率	95%	95%	100%	90%	89%	
小淵沢東保育園  【定員75名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	4	0	0	2	1
	1	8	4	3	4	5
	2	6	10	10	9	5
	3	10	7	10	9	9
	4	13	10	7	9	11
	5	9	12	10	8	10
	計	50	43	40	41	41
入園率	67%	57%	53%	55%	55%	

各年4月1日現在

子育て応援課資料

※入園率は定数に対する入園児童数の割合

白州保育園 西部こども園 【定員120名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	0	0	2	3	1
	1	9	6	5	4	5
	2	6	16	12	6	5
	3	18	10	20	16	10
	4	14	22	10	21	18
	5	19	17	20	10	20
	計	66	71	69	60	59
入園率	55%	59%	58%	50%	49%	
武川保育園 【定員90名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	0	1	1	2	0
	1	3	2	5	6	8
	2	19	8	3	10	9
	3	22	23	14	5	13
	4	18	22	23	14	6
	5	21	18	23	23	14
	計	83	74	69	60	50
率	92%	82%	77%	67%	56%	
三葉保育園 【定員45名】	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	1	0	1	0	2
	1	3	4	4	6	3
	2	8	7	7	4	8
	3	3	15	10	7	6
	4	8	4	14	10	8
	5	8	9	5	14	10
	計	31	39	41	41	37
入園率	69%	87%	91%	91%	82%	
清里聖ヨハネ保育園 【定員60名】 (平成25年～平成26年) 【定員70名】 (平成27年) 【定員76名】 (平成28年から)	年齢	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	0	2	0	1	1	2
	1	7	8	10	6	11
	2	13	9	8	14	10
	3	12	18	15	17	22
	4	10	18	18	14	16
	5	19	16	18	18	13
	計	63	69	70	70	74
入園率	105%	115%	100%	92%	97%	

各年4月1日現在

子育て応援課資料

※入園率は定数に対する入園児童数の割合

②保育施設及び年齢別の入園状況

表2.3

平成29年4月1日現在

施設名	種別	園児数(人)							定員(人)	定員に対する 入園率(%)
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
明野保育園	公立	0	7	9	9	23	17	65	90	72.2%
須玉保育園・南部こども園	公立	3	12	19	20	29	27	110	210	52.3%
しらかば保育園	公立	1	14	18	24	20	18	95	120	79.1%
しらかば保育園さくら分園	公立	0	3	7	7	7	0	24	45	53.3%
みどり保育園	公立	3	7	18	19	17	20	84	120	70.0%
わかば保育園	公立	0	2	3	5	4	4	18	45	40.0%
長坂保育園	公立	0	18	19	27	30	28	122	130	93.8%
長坂保育園日野春分園	公立	0	4	8	7	8	13	40	45	88.8%
小泉保育園・北部こども園	公立	1	6	13	9	21	10	60	75	80.0%
いずみ保育園	公立	5	11	15	27	21	28	107	120	89.1%
小淵沢西保育園	公立	1	12	8	27	21	29	98	110	89.0%
小淵沢東保育園	公立	1	5	5	9	11	10	41	75	54.6%
白州保育園・西部こども園	公立	1	5	5	10	18	20	59	120	49.1%
武川保育園	公立	0	8	9	13	6	14	50	90	55.5%
三葉保育園	私立	2	3	8	6	8	10	37	45	82.2%
清里聖ヨハネ保育園	私立	2	11	10	22	16	13	74	76	97.3%
グレースハウス	私立	0	5	0	0	0	0	5	5	100.0%
合計		20	133	174	241	260	261	1,089	1,521	71.6%

子育て応援課資料

市内の保育施設における入園率のうち、グレースハウス(私立)は、家庭的保育(定員5名の小規模)であることから100%であります。

また、三葉保育園(私立)、清里聖ヨハネ保育園(私立)の保育需要も高い状況となっております。

公立保育園においては、長坂保育園の保育需要が最も高く93.8%であり、一方、保育需要が低い保育園は、わかば保育園で40.0%となっております。

公立と私立の総計に応じた平均入園率は、71.6%となっております。

## (2) 保育施設の現状

本市の公立保育施設（15施設）の耐震状況は、旧耐震基準（昭和56年以前）により建設された建物が6施設、新耐震基準により建築された建物が9施設となっています。

旧耐震基準により建設された6施設は、すべての建物に対して耐震診断を実施し、安全性の確認ができています。

また、新耐震基準の建物においても、9施設のうち、4施設が建築後30年を経過しているため、施設は老朽化が目立ち、不具合や機器の故障が年々増加していることから、計画的な長寿命化対策の必要があります。

比較的新しい施設においても、多様化する保育ニーズに対応していない施設もあり、計画的な改修や、効率の良い設備の導入を検討する必要があります。

さらに、しらかば保育園、長坂保育園及び白州保育園・西部こども園の3施設においては、園児の送迎に保護者が利用する駐車場が狭隘であることから、あわせて検討の必要があります。

表2.3 公立保育園の施設状況

	施設名	住所	建築年	改修実施年	築後経過年数 (H29.3未現在)	構造	建物面積	耐震状況
1	明野保育園	北杜市明野町小笠原3891	昭和57年	平成12年	35年	RC1F	825.69㎡	新耐震
2	須玉保育園・南部こども園	北杜市須玉町大蔵795	平成17年	—	12年	S1F	2179.62㎡	新耐震
3	しらかば保育園	北杜市高根町箕輪2270-1	平成13年	—	16年	RC1F	1,135.93㎡	新耐震
4	しらかば保育園 さくら分園	北杜市高根町長沢2127-1	昭和56年	—	36年	RC1F	330.75㎡	新耐震
5	みどり保育園	北杜市高根町村山西割1680	昭和59年	—	33年	RC1F	868.83㎡	新耐震
6	わかば保育園	北杜市高根町浅川266-22	平成 4年	—	25年	RC1F	653.21㎡	新耐震
7	長坂保育園	北杜市長坂町長坂上条2413-1	昭和54年	平成13年 (大規模)	38年	RC1F	1,431.76㎡	旧耐震
8	長坂保育園 秋田分園	北杜市長坂町大八田3531	昭和56年	平成14年 (大規模)	36年	RC1F	765.81㎡	旧耐震
9	小泉保育園・北部こども園	北杜市長坂町白井沢4160	平成12年	—	17年	RC1F	1,124.15㎡	新耐震
10	長坂保育園 日野春分園	北杜市長坂町長坂下条1237-3	平成10年	—	19年	RC1F	1,038.6㎡	新耐震
11	いずみ保育園	北杜市大泉町谷戸3005	昭和52年	平成 3年	40年	RC1F	796㎡	旧耐震
12	小淵沢東保育園	北杜市小淵沢町上笹尾1163	昭和58年	平成16年	34年	RC1F	522.51㎡	新耐震
13	小淵沢西保育園	北杜市小淵沢町6851	昭和52年	平成 3年	40年	RC1F	708.9㎡	旧耐震
14	白州保育園・西部こども園	北杜市白州町白須1140	昭和53年	平成12年	39年	RC1F	1,129㎡	旧耐震
15	武川保育園	北杜市武川町牧原1146	昭和55年	平成 5年	37年	RC1F	1,257.4㎡	旧耐震

### 第3章 保育施設整備の課題

#### 1 現状から見える課題

---

##### (1) 公立保育施設の老朽化

公立の保育施設は、旧耐震基準（昭和56年以前）の建築または建築後30年を経過する施設が多く、全体の約6割を占めています。

これらの施設は、建設当時の保育水準に対応した施設や敷地のため、現在の保育水準に必要な設備を整備するには施設配置や敷地面積に限界があります。

現在の施設では、乳児保育等への対応が不十分であり、調乳室等の整備や特別保育など新たな保育ニーズに対応できない状況です。

また、設備においても老朽化が進んでいる状況であります。

##### (2) 適正な保育施設数の確保

0～5歳の人口及び出生の状況を見ると、全ての年齢層で減少傾向にあることから、年齢に応じた保育の必要性と集団生活を学ぶための適正な規模の定員数及び施設数を検討する必要があります。

##### (3) 地域特性への対応及び良好な保育環境の確保

本市は広大な面積を有しており、保育ニーズの多い地域と少ない地域に差が見られます。

しかし、子どもが減少している地域においても身近な地域での保育機能を確認する必要があります。

また、就園している園児の送迎は、保護者の就労環境や地域の環境などから車での送迎が多いため、公共施設や主要道路等からのアクセス道路の確保や駐車場の確保も含めた地域特性に応じた対応が必要となっています。

##### (4) 多様化する保育ニーズへの対応

本市では、休日保育（長坂保育園のみ）、乳児保育、一時保育、病児・病後児保育（長坂保育園秋田分園内）など多様化する保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実や環境整備を図っています。

今後、施設整備の面においても多様化する保育サービスへの対応が必要となっています。

## 2 北杜市公共施設等総合管理計画から見える課題

---

### (1) 人口状況

本市の平成28年4月1日現在の人口は47,927人であり、推移は漸次減少傾向を示しています。

また、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が減少し、老年人口（65歳以上）は増加傾向を示しており、平成52年には、2人に1人が高齢者という状況になると見込まれています。

### (2) 財政状況

#### <歳入の推移>

本市の普通会計の歳入決算額は、毎年おおむね300～340億円程度で推移しています。

平成27年度の歳入決算額は、地方交付税が約123億円と最も多く、次いで市税の約72億円の順となっています。

地方交付税については、平成27年度から平成31年度の5年間で、合併に伴う特例措置による増加額が段階的に縮減されることとされています。

また、市税についても、毎年69～72億円程度で推移していますが、将来的には少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による減収が見込まれます。

#### <歳出の推移>

本市の普通会計の歳出決算額は、毎年おおむね290億～330億円程度で推移しています。

平成27年度の歳出決算額は、公債費が約57億円と最も多く、次いで繰出金の約44億円、人件費の約41億円の順となっています。

公債費については、将来の負担軽減と財政の健全化を図るため、積極的な繰上償還を行っていますが、合併に伴う財政的なメリットがなくなっていくことに伴い、従来の規模での繰上償還及びそのための基金の積立ては困難になっていきます。

また、平成18年度と平成27年度を比較すると、人件費は定員適正化計画の推進等により減少傾向にありますが、扶助費については、高齢化の進展や経済状況等による生活保護費や障がい福祉サービス費等の増、支給対象年齢引上げによる子ども医療費により増加しています。

今後は、公共施設及びインフラに関する維持・更新に係る経費の増大も見込まれる状況にあります。

(3) 公共施設等の整備のための歳出額の推移

平成23年度から平成27年度までの5か年分の普通会計決算カード及び地方公営企業決算カードによる公共施設等の整備・改修を目的とする普通建設事業費（普通会計）や建設改良費（公営事業会計）の合計額は、年平均で約52.4億円となっています。

また、普通建設事業費及び病院事業費のうち、インフラを除く平成23年度から平成27年度までの5か年の公共施設の整備・改修資金の合計額は、年平均で11.1億円となっています。

(4) 公共施設等の整備における今後の財政見通し

本市の公共施設等の整備のために充当される投資的経費の主要な部分を占める普通建設事業費は、平成28年度には一旦増加したものの、その後は過去の平均額と同程度の金額（年間43億円程度）が続くものと仮定した上で、合併に伴う普通交付税の特例措置が終了する平成32年度において実質単年度収支の黒字は見込んでいるものの、有利な起債である合併特例債が活用できなくなる平成33年度以降は元利償還金の財政負担が増大し、財政状況が厳しくなっていくと見込まれます。

(5) 子育て支援施設の状況<sup>※3</sup>

本市が保有する公共施設は361施設あり、延床面積は50.6万㎡で市民1人当たりの行政財産（建物）の延床面積は8.67㎡/人であるのに対し、県内市平均値は4.16㎡/人と本市の方が2.1倍多い状況であります。

また、そのうち子育て支援施設<sup>※3</sup>の割合は、全体の4.0%を占めています。

施設類型ごとの方針として、保育園は児童福祉法に基づき設置された施設であり、サービスの継続を基本としますが、「北杜市保育園充実プラン」に基づき、適正規模、適正配置を行っていきます。

また、施設においては老朽化が進んでいる状況にあるため、「北杜市立保育園整備計画」を策定し、中長期的な整備を計画的に行うこととします。

※3子育て支援施設には保育園以外の施設を含む。（放課後児童クラブ、児童館等）

## 第4章 保育施設整備の基本方針

### 1 施設整備の基本方針

本計画においては、老朽化した保育施設の整備と合わせて、保育を取り巻く社会環境の変化や多様化する保育ニーズに対応した施設整備を促進します。

また、地域の特性に配慮した上で計画的に推進します。

なお、施設の整備に当たっては、耐用年数及び老朽化の状況を踏まえ、長寿命化を基本とします。

長寿命化改修では耐久性が確保できないと判断される場合や長寿命化改修するよりも建て替えを行う方が合理的である場合は、建て替えを行います。

## 第5章 保育施設整備の計画

### 1 各施設における具体的な整備計画

本計画の策定にあたり、専門家による調査を実施した結果、以下のとおりの評価点となりました。（評価点数が高いほど優先順位が高い。）

なお、いずみ保育園については、本計画の策定前に建設を行うこととしたため、本計画から除いています。

#### 整備優先順位

施設名	評価点
小淵沢西保育園	14.9
白州保育園・西部こども園	14.8
小淵沢東保育園	14.4
しらかば保育園さくら分園	13.6
みどり保育園	12.4
武川保育園	10.6
わかば保育園	8.8
明野保育園	7.5
長坂保育園秋田分園	6.6
長坂保育園	5.7
長坂保育園日野春分園	5.4
小泉保育園・北部こども園	5.2
しらかば保育園	5.1
須玉保育園・南部こども園	1.9

※評価点は、専門家（建築士）が、「経年、建物内部、建物外部、屋上、電気設備、機械設備、プール」の状況を調査し、総合的に判定。



整備優先度表

施設名	経年	内部	外部	屋上	電気	設備	その他	計	順位
明野保育園	2.5	1	0	2	0	2	0	7.5	8
須玉保育園・南部こども園	0.9	1	0	0	0	0	0	1.9	14
しらかば保育園	1.1	1	1	2	0	0	0	5.1	13
しらかば保育園さくら分園	2.6	4	2	3	0	0	2	13.6	4
みどり保育園	2.4	2	2	2	0	2	2	12.4	5
わかば保育園	1.8	2	2	1	0	2	0	8.8	7
長坂保育園	2.7	1	1	1	0	0	0	5.7	10
長坂保育園秋田分園	2.6	1	1	2	0	0	0	6.6	9
長坂保育園日野春分園	1.4	1	2	1	0	0	0	5.4	11
小泉保育園・北部こども園	1.2	1	2	1	0	0	0	5.2	12
白州保育園・西部こども園	2.8	3	3	3	0	2	1	14.8	2
武川保育園	2.6	2	2	2	0	2	0	10.6	6
小淵沢東保育園	2.4	3	2	3	0	2	2	14.4	3
小淵沢西保育園	2.9	3	2	2	1	2	2	14.9	1

■評価基準

1 経年	建設から現在までの経過年数により評価
2 内部	内部改修の必要性の大きさにより評価
3 外部	外部改修の必要性の大きさにより評価
4 屋上	屋上改修（防水等）の必要性の大きさにより評価
5 電気設備	電気設備の改修の必要性の大きさにより評価
6 機械設備	機械設備の改修の必要性の大きさにより評価
7 その他	プールの有無により評価

上記の評価点を踏まえ、第2次保育園充実プランにおける公立保育園の機能強化（施設整備）に基づき、次のとおり各施設の整備計画順位を定めます。

なお、整備スケジュールについては、財政状況を踏まえて計画的に実施していきます。

## 整備計画順位

施設名	整備順位
小淵沢西保育園	1
小淵沢東保育園	2
白州保育園・西部こども園	3
みどり保育園	4
武川保育園	5
明野保育園	6
しらかば保育園さくら分園	7
わかば保育園	8
長坂保育園	9
小泉保育園・北部こども園	10
長坂保育園日野春分園	11
しらかば保育園	12
須玉保育園・南部こども園	13
長坂保育園秋田分園	14

### ①<明野保育園> 整備順位6

昭和57年に建設され建設後35年が経過しており、平成12年に一部改修を実施しています。

#### (整備計画)

園舎棟、遊戯室棟において、大規模改修により長寿命化が可能です。

#### 【園舎棟】

##### (内部)

- ・床材の色落ち、給食室の床塗装の剥がれ及びクラックが発生しているため、塗装改修が必要。

##### (外壁)

- ・改修の必要なし。

##### (屋上)

- ・防水層の劣化が進行しているため、改修が必要。
- ・庇の防水モルタルの劣化が進行しているため、ウレタン防水などの改修が必要。
- ・テラスのアルミ庇の影響により雨水の流れが悪くなり軒天に漏水しているため、既存雨落とし部分に樋を設置する必要がある。
- ・一部屋根瓦に色落ちが生じているため、塗装改修が必要。

(電気設備)

- ・改修の必要なし。

(機械設備)

- ・ボイラー室のボイラーが不完全燃焼しているため改修が必要。

【遊戯室棟】

(内部)

- ・一部クラックが発生しているが、改修の必要なし。

(外壁)

- ・外壁東側にクラックが発生しているため、クラック補修及び塗装改修が必要。
- ・屋外手摺りに錆が発生しているため、塗装改修が必要。

(屋上)

- ・防水層の劣化が進行しているため、改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

【渡り廊下】

(内部)

- ・柱、梁、天井に錆が発生しているため、塗装改修が必要。

【プール棟】

- ・改修の必要なし。

## ②<須玉保育園・南部こども園> 整備順位13

---

平成17年に建設され建設後12年が経過しています。

(整備計画)

園舎棟、プール棟において、大きな改修は必要なく、一部修繕により長寿命化が可能であります。

【園舎棟】

(内部)

- ・保育室の手洗い場周辺の一部床及び木部が腐食しているため修繕が必要。
- ・ハンガードアの上部（ハンガー部）の一部が外れているため修繕が必要。
- ・引き違い建具の金具が壊れているため修繕が必要。
- ・便所入口の床が一部腐食しているため床材の部分的張替え修繕が必要。

(外壁、屋上、電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

- 【プール棟、渡り廊下】  
(内部、外壁、屋上、電気設備、機械設備)  
・改修の必要なし。

### ③<しらかば保育園> 整備順位12

---

平成13年に建設され建設後16年が経過しています。

(整備計画)

園舎棟、プール棟において、大規模改修により長寿命化が可能です。  
園児の送迎時や園行事の際に駐車場が不足しているため改修にあわせて整備が必要です。

【園舎棟】

(内部)

- ・保育室の床の一部に浮きが生じているため改修が必要。
- ・廊下の内壁にクラックが多数発生しているため改修が必要。
- ・廊下、遊戯室の天井に漏水跡が確認されているため改修が必要。
- ・保育室、ランチスペース、ほふく室、遊戯室、調理室の建具の修繕が必要。
- ・遊戯室の照明器具の改修が必要。
- ・調理室の床の一部に浮きが生じているため改修が必要。

(外壁)

- ・外壁に多数クラックが発生しているため、外壁改修が必要。
- ・タイルが雨跡で汚れているため、軒先の改修が必要。

(屋上、電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

【プール棟】

(内部)

- ・クラックが発生しているため改修が必要。

(外壁)

- ・外壁に多数クラックが発生しているため外壁改修が必要。

(屋上)

- ・タイルが雨跡で汚れているため、軒先の改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

【渡り廊下】

(屋上)

- ・波板からの漏水が発生しているため改修が必要。

#### ④くしらかば保育園さくら分園 > 整備順位7

---

昭和56年に建設され建設後36年が経過しています。

##### (整備計画)

評価点では優先順位が4位ですが、ここ数年の入園児童数が25名前後で推移していることから、第2次保育園充実プラン（分園の園児数が継続して20名を割り込むことが見込まれる場合は、休園又は廃園を検討する）に基づき、今後の推移を見守る必要があります。

このことから、当面、園舎棟の大規模改修は見送り、部分修繕等により長寿命化を図ります。

ただし、建物への影響が危惧される劣化部分（特に屋上防水）及び園児の安全に関わる部分においては、計画的かつ迅速に修繕を行います。

##### 【園舎棟】

##### (内部)

- ・給食職員専用の便所、休憩室がないため増築が必要。
- ・ホール、廊下、保育室、ほふく室、遊戯室の床材が変色しているため、張替えが必要。
- ・保育室の木製ロッカーの塗装が剥離しているため塗装改修が必要。
- ・調乳室、沐浴室、厨房、物品倉庫、廊下南側の内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・ほふく室のトップライト周囲の天井が漏水しているため天井材張替えが必要。
- ・サッシの結露が確認されたため改修が必要。
- ・職員室の床にクラックが発生しているため改修が必要。

##### (外壁)

- ・外壁に多数クラックが発生しているため外壁改修が早急に必要。
- ・タラップに錆が発生しているため塗装改修が必要。

##### (屋上)

- ・防水層の劣化が進行しているため早急な改修が必要。
- ・屋根瓦の劣化が進行しているため改修が必要。
- ・笠木、内樋が劣化しているため改修が必要。

##### (電気設備)

- ・改修の必要なし。

##### (機械設備)

- ・屋上に設置されている温水ソーラー設備の配管破裂、架台に錆が発生しているため解体が必要。

#### ⑤<みどり保育園> 整備順位4

---

昭和59年に建設され建設後33年が経過しています。

##### (整備計画)

園舎棟、倉庫・外便所棟において、大規模改修により長寿命化が可能であります。

##### 【園舎棟】

###### (内部)

- ・遊戯室、廊下、保育室、乳児室、厨房の内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・廊下の内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・乳児室の床（カーペット）に浮きが生じているため改修が必要。
- ・玄関の天井に漏水跡が確認されたため天井材張替えが必要。
- ・厨房の内部出入口額縁下部が腐食しているため改修が必要。
- ・テラスの土間にクラックが発生しているため床材とあわせた改修が必要。

###### (外部)

- ・門扉の戸車に錆が発生し開閉ができない状況であるため改修が必要。

###### (外壁)

- ・多数のクラックが発生しているため外壁改修が必要。

###### (屋上)

- ・保護モルタル（コンクリート）の劣化が進行しているため全面的な防水改修が必要。
  - ・テラス庇（鉄部）に錆が発生しているため塗装改修が必要。
  - ・昇降口ポーチ屋根のシーリングが劣化しているため改修が必要。
  - ・金属屋根（北側）の樋に錆が発生しているため塗装改修が必要。
- ###### (電気設備)
- ・改修の必要なし。
- ###### (機械設備)
- ・厨房の給水配管が露出のため衛生面から土間配管への改修が必要。
  - ・屋上温水ソーラーの配管破裂、架台に錆が発生しているため改修が必要。

##### 【倉庫・外便所棟】

###### (内部、外壁、屋上、電気設備)

- ・改修の必要なし。

###### (機械設備)

- ・便所の配管が凍結により使用できないため改修が必要。
- ・プールの排水バルブの改修が必要。

## ⑥<わかば保育園> 整備順位8

---

平成4年に建設され建設後25年が経過しています。

### (整備計画)

評価点では優先順位が7位ですが、ここ数年の入園児童数が20名前後で推移していることから、第2次保育園充実プラン（入園児童数が30名以下となっている又はなることが予想されるなど一定の集団規模が確保できない保育園は適正規模、適正配置の見直しを行う）に基づき、今後の推移を見守る必要があります。

このことから、当面、園舎棟の大規模改修は見送り、部分修繕等により長寿命化を図ります。

ただし、建物への影響が危惧される劣化部分（特に外壁改修等）及び園児の安全に関わる部分においては、計画的かつ迅速に修繕を行います。

### 【園舎棟】

#### (内部)

- ・ 厨房職員専用便所がないため増築が必要。
- ・ ホール、ワークスペースの床材に色落ちがあるため塗装改修が必要。
- ・ 厨房、ワークスペース、遊戯室の天井材に漏水跡が確認されるため天井材張替えが必要。
- ・ 事務室の天井クロスに剥がれが発生しているため改修が必要。
- ・ テラスの土間にクラックが発生しているため床材とあわせた改修が必要。
- ・ シャワー室の床に水溜りが生じるため改修が必要。

#### (外壁)

- ・ 多数のクラックが発生しているため早急に外壁改修が必要。
- ・ サイディングの塗装、目地シーリングが劣化しているため改修が必要。

#### (屋上)

- ・ 瓦棒葺き屋根に錆が発生しているため塗装改修が必要。

#### (電気設備)

- ・ 改修の必要なし。

#### (機械設備)

- ・ プールシャワーが故障しているため改修が必要。
- ・ 組立式プールから漏水が発生しているため改修が必要。

## ⑦<長坂保育園> 整備順位9

---

昭和54年に建設され建設後38年が経過しており、平成13年に大規模改修を実施しています。

### (整備計画)

園舎棟、倉庫棟において、大規模改修により長寿命化が可能であります。

園児の送迎時や園行事の際に駐車場が不足しているため改修にあわせて整備が必要です。

#### 【園舎棟】

(内部)

- ・保育二ーズに対応したスペースを確保するため増築が必要。
- ・廊下のEXP J部の金物に浮きが生じているため改修が必要。
- ・屋内プールの排水溝に漏水が発生しているため改修が必要。
- ・ランチルームの一部内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・調理室の床にクラック、塗装の剥離が発生しているため改修が必要。
- ・テラスにクラックが発生しているため床改修が必要。

(外壁)

- ・RC造園舎の外壁に多数クラックが発生しているため早急に外壁改修が必要。
- ・屋内プール外壁において配管ブラケットに錆が発生しているため改修が必要。

(屋上)

- ・RC造園舎の底部の防水改修が必要。
- ・S造園舎の屋上シート防水の劣化が進行しているため全面的な改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

#### 【倉庫棟】

(内部、外壁、屋上、電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

### ⑧<長坂保育園秋田分園> 整備順位14

昭和56年に建設され建設後36年が経過しており、平成14年に大規模改修を実施しています。

(整備計画)

評価点では優先順位が9位ですが、現在休園中であり、平成27年から病児・病後児保育園として利用しています。

今後、施設の利用状況を踏まえ、病児・病後児保育における受入れ要件や開園場所等について検討する必要もあることから、当面の間大規模改修を見送り、部分修繕等により長寿命化を図ります。

ただし、建物への影響が危惧される劣化部分（特に屋上防水等）においては、計画的かつ迅速に修繕を行います。

#### 【園舎棟】

(内部)

- ・遊戯室のサッシ下部シーリングに割れが発生しているため改修が必要。
- ・休憩室の建具上枠が外れているので改修が必要。
- ・テラスの土間にクラックが発生しているため改修が必要。



(外壁)

- ・庇が汚れているため改修が必要。
- ・機械室の煙突に錆が発生しているため塗装改修が必要。
- ・屋内プールのサッシ水切りモルタルにクラックが発生しているため改修が必要。

(屋上)

- ・屋上シート防水の劣化が進行しているため早急に全面的な改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

### ⑨<小泉保育園・北部こども園> 整備順位10

---

平成12年に建設され建設後17年が経過しています。

(整備計画)

園舎棟、倉庫棟において、大規模改修により長寿命化が可能であります。

【園舎棟】

(内部)

- ・廊下の床材に一部色落ちがあるため塗装改修が必要。
- ・廊下、便所の天井に一部漏水箇所が確認されるため改修が必要。
- ・プールの内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・プールの排水溝に漏水が発生しているため改修が必要。
- ・厨房の床にクラック、塗装の剥離が発生しているため改修が必要。
- ・園児の安全面からテラスの床材をクッション性のあるものに改修。

(外部)

- ・園庭の柵類が地面より突出しており危険であるため早急に改修が必要。

(外壁)

- ・外壁、軒天に多数のクラックが発生しているため外壁改修が必要。

(屋上)

- ・プールのトップライト周囲のシーリングが劣化しているため改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

【倉庫棟】

(内部、屋上、電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

(外壁)

- ・サイディングの目地シーリングが劣化しているため早急に改修が必要。
- ・土間の塗装が剥離しているため改修が必要。
- ・軒天のビス部分の塗装が剥離しているため塗装改修が必要。

#### ⑩<長坂保育園日野春分園> 整備順位1 1

---

平成10年に建設され建設後19年が経過しています。

##### (整備計画)

園舎棟、倉庫棟において、大規模改修により長寿命化が可能であります。

##### 【園舎棟】

(内部)

- ・ほふく室の床に色落ちがあるため改修が必要。
- ・プールの排水溝に漏水が発生しているため改修が必要。
- ・園児の安全面からテラスの床材をクッション性のあるものに改修。

(外壁)

- ・外壁、軒天に多数クラックが発生しているため外壁改修が必要。

(屋上)

- ・屋上シート防水の劣化が進行しているため全面的な改修が必要。
- ・プールのトップライト周囲のシーリングが劣化しているため改修が必要。

(電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

##### 【倉庫棟】

(内部、屋上、電気設備、機械設備)

- ・改修の必要なし。

(外壁)

- ・ブロックが割れているため改修が必要。

#### ⑪<小淵沢西保育園> 整備順位1

---

昭和52年に建設され建設後40年が経過しており、平成3年に一部改修を実施しています。

##### (整備計画)

評価点では優先順位が1位であり、早急に改修を行う必要がある施設であります。小淵沢東保育園のここ数年の入園児童数が40名前後で推移していることから、第2次保育園充実プラン（小淵沢東保育園の入園児童数が40名前後で推移し、今後更なる減少が見込まれることから、小淵沢西保育園との統合を検討する）（各地区内に複数保育園がある地域においては、単独での建て替えは原則行わないこととする）に基づき、小淵沢東保育園と統合し、新園舎を建設する方向で検討します。

なお、建設場所及び規模等の詳細については、今後十分に検討を行った上で整備を進めていきます。

ただし、整備前において園児の安全に関わる部分の修繕が必要となった場合は、迅速に対応します。

## ⑫<小淵沢東保育園> 整備順位2

昭和58年に建設され建設後34年が経過しており、平成16年に一部改修を実施しています。

### (整備計画)

評価点では優先順位が3位であり、早急に改修を行う必要がある施設であります。ここ数年の入園児童数が40名前後で推移していることから、第2次保育園充実プラン（入園児童数が40名前後で推移し、今後更なる減少が見込まれることから、小淵沢西保育園との統合を検討する）（各地区内に複数保育園がある地域においては、単独での建て替えは原則行わないこととする）に基づき、小淵沢西保育園と統合し、新園舎を建設する方向で検討します。

なお、建設場所及び規模等の詳細については、今後十分に検討を行った上で整備を進めていきます。

ただし、整備前において園児の安全に関わる部分の修繕が必要となった場合は、迅速に対応します。

## ⑬<白州保育園・西部こども園> 整備順位3

昭和53年に建設され建設後39年が経過しており、平成12年に一部改修を実施しています。

### (整備計画)

評価点では優先順位が2位であり、早急に改修を行う必要がある施設であります。

第2次保育園充実プラン（施設改修に多額の費用が必要となることが予想されることから、建て替えについて検討する）に基づき検討した結果、大規模改修の方が安価であり、かつ長寿命化が図られること、また今後入園児数の大幅な増加が見込めないことから施設規模を拡大せずに、現在の園舎を大規模改修する方向で検討します。

なお、改修にあわせて屋内プール及び駐車場の整備も検討します。

### 【園舎棟】

#### (内部)

- ・園舎のテラスが屋外であるため、内部廊下に改修する必要がある。
- ・テラス面のサッシについては改修されているが、開閉がスムーズに動かないため改修が必要。
- ・テラス面に開きドアがあり危険であることから改修が必要。
- ・保育室のドアを引違い戸、片引き戸に変更する必要があるが、現状の壁長が短いことから改修不可であるため増築が必要。
- ・給食室に給気ガラリの設置が必要。
- ・スロープ廊下が危険であるため床をクッション性のある材料に改修する必要がある。
- ・遊戯室棟の北側土間にクラックが発生しているため改修が必要。

(外壁)

- ・外壁がスタッコ吹付けであるため汚れが目立つことから、フラット系塗装に改修する必要がある。
- ・遊戯室棟の外部土間にクラックが発生しているため改修が必要。

(屋上)

- ・スロープ廊下の上部トップライトから漏水が発生しているため屋根形状を改修する必要がある。
- ・屋上シート防水の劣化が進行しているため全面的な防水改修が必要。

(電気設備)

- ・改修の必要なし。

(機械設備)

- ・ほふく室の床暖房が故障しているため改修が必要。
- ・給食倉庫の室内温度が高くなるため空調の改修が必要。
- ・厨房の給食配管が露出配管のため土間配管に改修する必要がある。

(衛生面の観点)

#### ⑭<武川保育園> 整備順位5

---

昭和55年に建設され建設後37年が経過しており、平成5年に一部改修を実施しています。

(整備計画)

園舎棟、プール棟において、大規模改修により長寿命化が可能であります。

【園舎棟】

(内部)

- ・廊下、保育室、遊戯室の内壁にクラックが発生しているため改修が必要。
- ・廊下、保育室の床材が浮いているため改修が必要。
- ・テラスにクラックが発生しているため床改修が必要。
- ・便所踏込みの床が浮いているため改修が必要。

(外壁)

- ・多数クラックが発生しているため早急に外壁改修が必要。

(屋上)

- ・屋上シート防水の劣化が進行しているため全面的な防水改修が必要。

(電気設備)

- ・改修の必要なし。

(機械設備)

- ・厨房の給食配管が露出配管のため土間配管に改修する必要がある。

(衛生面の観点)